

みなみがおか

自ら求め 共に高まる

令和7年5月1日(木)

思いやりと勢い(挑戦意欲)のある学校に

生徒は毎日急な坂を上って登校してきます。これから夏に向けて体力的にも、精神的にも大変な上り坂です。そんな生徒には「よくきてくれたね」という気持ちで挨拶をしています。挨拶の声にも少しずつ勢いが出てきました。



「さあ 行こう!」この言葉はよく使う言葉ですが、2023年WBCの時に大谷選手がチームを鼓舞するためにかけた言葉として、メディアで取り上げられました。きっと、その言葉は生徒の間で認知されていると思います。私は、生徒が心を開放し、勢いを出すためにこの言葉を一緒に使っていきたいと思います。そこで、生徒には「事あるごとに、校長は『さあ 行こう!』と言うから、『さあ 行こう!』と返してほしい」と伝えました。

4月18日に行われた部活動説明会での出来事です。部活動説明会では、部長さんが1年生に向けて部活動の説明をしました。すると、一番初めに説明を終えた剣道部部長の●●●●さんが「さあ 行こう!」と付け加えてくれました。すると次の部長さんも、その次の部長さんも「さあ 行こう!」と声に出して、次の部長さんにマイクを渡していました。中には急な展開だっただけに、照れながらの「さあ 行こう!」の声の部長さんもありましたが、結局部長さん全員が「さあ 行こう!」と声に出して1年生に投げかけてくれました。

勢いを付けるための校長の言葉が、生徒の言葉として広がりを見せた部活説明会となりました。この先が本当に楽しみになりました。ぜひとも、気持ちを声に出せる(心を開放できる)南ヶ丘中学校にしていきたいと思います。

地域でも挑戦

地域の皆さんは生徒の成長を見守るだけでなく、育てようとしてくださっています。各地区のまちづくり市民会議では「子どもスタッフ」を募集し、様々な経験をさせていただきます。どんどん地域に出向いて自分の力を試してほしいと思います。

子どもスタッフとして地域のために挑戦する生徒 “ さあ 行こう! ”

この部分には、生徒の氏名や居住地域等の個人情報が記載されていますので、伏せさせていただきます。